
**中体連が主催する各種競技会およびそれに準ずる
対外試合における会場使用上の注意事項**

京都市中学校体育連盟

対外試合などのために他校へ出かけたときは、その会場校に迷惑をかけないよう、次の事項をよく守り、楽しく試合や応援ができるよう、各学校、各チーム毎に注意して下さい。

A. 会場使用上の注意

1. 顧問の先生の注意をよく聞き、会場に迷惑をかけないこと。
(会場独自の使用規定など専門委員会から各顧問へ徹底して下さい。)
2. 昼食や飲料水などのゴミがあったときは、各自で後始末をして必ず持ち帰ること。
(飲料水などを試合後に応援に来た者が飲ます傾向が多く、その後の缶やペットボトルなどのゴミの処理などが悪く、苦情も多い。)
3. 自転車置き場のない会場も多く、また、交通安全上、自転車の使用はしないこと。
(特に、応援に来られる方の自家用車でのご来場はご遠慮下さい。)
4. 早朝から会場へ行き、管理者の迷惑にならないよう、使用時間を厳守すること。
(早くから会場に到着したりするので、管理上、問題が多い。準備、その他のためにあっても、会場責任者の到着があってから、許可を受けて入場すること。)
5. 電話での試合結果の問い合わせや、不必要的呼び出しなどをしないこと。
(緊急の呼び出しなど、やむを得ないときは、会場責任者を通じ依頼すること。)
6. 体育館では二足制を厳守し、必ず体育館用の靴を持参すること。
7. 更衣室やトイレなどは、指定された場所を使用し、それ以外の場所（校舎内外・使用しない建物）には立ち入らないこと。
8. 更衣のために使用した場所などは、後始末をきちんとしておくこと。

B. スポーツマンシップの指導

最近、各学校の適切なご指導により、対外試合後の相手校とのいさかいがほとんどなくなり、大変喜ばしいことです。しかし、まだ時折不明朗な話を聞くことがあります。

スポーツは勝負も大切な要素ではありますが、それだけではなく、心身の健全な発達や技術の上達を図り、生活を健全で豊かにすることをねらいとしています。いかに厳しいゲームをしても、試合終了後に楽しかったという気持ちを大切にしたいものです。

各学校において、競技者や応援の生徒も含めてスポーツマンシップのご指導をお願いします。

スポーツマン綱領

1. 競技するものは、スポーツを愛好し、ひいてはそれを心とからだのなかてとし、明るい光と、すがすがしい空気の中で純粋にスポーツを行うこと。
2. 競技するものは、スポーツを行うことによって、社会的な名声や物質的な利益を得ようという考えを持たないこと。
3. 競技するものは、審判を重んじ、その決定に満足しない場合でも、感情に支配されない行動をとること。
4. 競技するものは、常に明朗で、相手を尊重しつつ、自分の最善を尽くし、その結果に満足すること。
5. 競技を審判するものは、規則に従って公正に判断し、競技を明るく、なめらかに進めること。
6. 競技を見る者は、感情にとらわれた応援をせず、美しい精神と、優れた技をたたえ、スポーツのより良い発展を願うこと。